

書 写

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年 (調査冊数)
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書 ◆	書写 1 0 6 2 0 6 3 0 6 4 0 6 5 0 6 6 0 6	B 5 変形 320	令和5年 (18冊)
17	教育出版	教 出 ◆	書写 1 0 7 2 0 7 3 0 7 4 0 7 5 0 7 6 0 7	B 5 328	
38	光村図書	光 村 ◆	書写 1 0 8 2 0 8 3 0 8 4 0 8 5 0 8 6 0 8	B 5 変形 324	

※ 「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」(学校教育法第34条第2項に規定する教材)の発行予定があることを示しています。

「採択資料1」【都立小学校調査研究資料(内容 a)】 都立立川国際中等教育学校附属小学校 書写

発行者の番号 略称		2 東書	17 教出	38 光村
内 容 a	日本の伝統的な言語文化に関する事項の扱い	第一学年 ・「かん字のはなし」では、「日」「雨」「月」「田」などの漢字について、イラストで象形文字の成り立ちを紹介し、我が国の豊かな文字文化に関心をもつ教材を設定している。(P37)	・「なんのかたちからできたかん字かな」では、「木」「月」「山」「川」の漢字について、イラストから象形文字の成り立ちを紹介し、我が国の豊かな文字文化に関心をもつ教材を設定している。(P42)	・「かん字しらべたい」では、「山」「日」「川」の漢字について、イラストから漢字の成り立ちを紹介し、我が国の豊かな文字文化に関心をもつ教材を設定している。(P37)
		第二学年 ・「えんぴつの作り方」では、鉛筆の作り方を紹介し、道具に関心をもつことができる教材を設定している。(P45)	・巻末では、筆について紹介し、道具に関心をもつことができる教材を設定している。(P41)	・「えんぴつのひみつ」では、材料や濃さの種類、鉛筆ができるまでを写真やイラストを添えて紹介し、道具に関心をもつことができる教材を設定している。(P40)
		第三学年 ・「書いて味わおう」では、書写する題材として俳句を扱い、伝統的な言語文化に触れる教材を設定している。(P36)	・「俳句」では、書写する題材として俳句を扱い、伝統的な言語文化に触れる教材を設定している。(P39)	・「ことば」では、書写する題材としてことわざを扱い、伝統的な言語文化に触れる教材を設定している。(P36・37)
		第四学年 ・「お礼の気持ちを手紙で伝えよう」では、前文、本文、末文、後付けなどの手紙の形式や封筒の書き方を紹介し、我が国の豊かな文字文化を理解する教材を設定している。(P38・39)	・「学習発表会の案内の手紙」では、はじめのあいさつ、本文、結びのあいさつ、後付けなどの手紙の形式やふうとうの書き方を紹介し、我が国の豊かな文字文化を理解する教材を設定している。(P46)	・「手紙の書き方」では、初めのあいさつ、本文、結びのあいさつ、後付けなどの手紙の形式や封筒の書き方を紹介している。また、「はがきの表書き」では、はがきの書き方を紹介し、我が国の豊かな文字文化を理解する教材を設定している。(P40・41)
		第五学年 ・「行の中心」では、小林一茶の俳句を扱い、伝統的な言語文化に触れる教材を設定している。(P31)	・「竹取物語」では、書写する題材として『竹取物語』を扱うとともに、「よろづの」「使ひけり」「なむいひける」などの古語を紹介し、伝統的な言語文化に触れる教材を設定している。(P15)	・書きぞめでは、『枕草子』を例示し、伝統的な言語文化に触れる教材を設定している。(P27)
		第六学年 ・「書いて味わおう」では、書写する題材として「漢詩『春暁』」「漢文『論語』」を扱っている。(P26・P32)また、「日本の文字の歴史」では、『竹取物語』の一部を写真で紹介し、伝統的な言語文化に触れる教材を設定している。(P38・39)	・「文字の旅」では、『浦島太郎』、『竹取物語』の一部を紹介している。(P18・19)また、『枕草子』を書くでは、書写する題材として『枕草子』を扱い、伝統的な言語文化に触れる教材を設定している。(P24・25)	・「用紙に合った文字の大きさと配列」では、書写する題材として小林一茶の俳句を扱い、伝統的な言語文化に触れる教材を設定している。(P14・15)

「採択資料1」【都立小学校調査研究資料(内容 b)】 都立立川国際中等教育学校附属小学校 書写

発行者の番号 略称		2 東書	17 教出	38 光村	
内 容 b	世界の文字・ 言語の扱い	第一学年	・「よこがき②」では、「クルミ、パン、ジュース、クッキー」の外来語を扱い、外国語の導入の一助となる教材を設定している。(P28)	・「かたかなのかきかた」では、全ての文字に外来語を例示し、外国語の導入の一助となる教材を設定している。(P47・48)	・「かたかなのかきかた」では、「パン、ゼリー、オレンジ、スープ」の外来語を扱い、外国語の導入の一助となる教材を設定している。(P28・29)
		第二学年	・「にている文字のちがうところ」では、「フルーツ、メロン、ソーダ、ミカン、バナナ」の外来語を扱い、外国語の導入の一助となる教材を設定している。(P10・11)	・「画の方こう」では、「ラッコ、シーツ、ピザ」などの外来語を扱い、外国語の導入の一助となる教材を設定している。(P12・13)	・「ことば」では、レオ＝レオニの作品「スイミー」を提示し、異文化に対する関心を高める教材を設定している。(P16・17)
		第三学年	・ローマ字の表を掲載し、異文化に対する関心や理解を深める教材を設定している。(P43)	・ローマ字表を掲載し、異文化に対する関心や理解を深める教材を設定している。(P47)	・「横書きの書き方」では、ローマ字表とアルファベットの一覧を掲載し、異文化に対する関心や理解を深める教材を設定している。(P26)
		第四学年	・ローマ字の表を掲載し、異文化に対する関心や理解を深める教材を設定している。(P41)	・記載なし	・ローマ字表とアルファベットの書き方を掲載し、異文化に対する関心や理解を深める教材を設定している。(P43)
		第五学年	・「世界の文字いろいろ」では、「こんにちは」「猫」「えんぴつ」について、英語のラテン文字、韓国・朝鮮語のハングル、中国語の漢字等の6種類の文字で紹介し、異文化に対する関心や理解を深め幅広い視野を養う教材を設定している。(P38・39)	・「世界の『こんにちは』」では、韓国・朝鮮語、ヒンディー語、英語、日本語、中国語、ポルトガル語、ロシア語、アラビア語の「こんにちは」を発音と文字で紹介し、異文化に対する関心や理解を深め幅広い視野を養う教材を設定している。(P53)	・「身近な文字をさがそう」では、案内板やマンホールなどの写真を拡大して「Chiba Station」、「KOBE」などを示し、異文化に対する関心や理解を深め幅広い視野を養う教材を設定している。(P49)
		第六学年	・「日本の文字の歴史」では、中国で漢字が生まれたことを紹介し、日本や世界の歴史、日本の伝統・文化や異文化を理解する教材を設定している。(P38・39)	・「知りたいな世界の『書く』」「伝えたいな日本の『書く』」では、中国や韓国の授業、海外の教科書、アラビア書道や英語でのカリグラフィについて写真で紹介するとともに、日本の毛筆用具を英語で示し、日本の伝統・文化や異文化を理解する教材を設定している。(P①・1)	・「文字の歴史」では、中国で漢字が生まれたことを紹介し、アイデンティティ確立のため、日本や世界の歴史、日本の伝統・文化や異文化を理解する教材を設定している。(P29～31)

「採択資料2」【小学校調査研究(内容の総括表)】 都立立川国際中等教育学校附属小学校 書写

項目 発行者	硬筆・毛筆					f 発展的な内容を取り上げている箇所
	a 姿勢や用具の持ち方、使い方を取り上げているページ数	b 点画の書き方を取り上げている項目数	c 文字の組立て方、文字の形を取り上げている項目数	d 文字の大きさや配列を取り上げている項目数	e 目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書くことを取り上げている箇所	
東書	47	56	49	23	15	0
教出	33	43	46	32	19	3
光村	36	49	42	21	7	2
平均値	38.7	49.3	45.7	25.3	13.7	1.7

表中の平均値は、項目ごとの各発行者の平均を小数第二位で四捨五入した値を示している。

b、c、d 1、2学年は硬筆、3学年以上は硬筆及び毛筆による学習である。目次に取り上げられている項目の数を取り上げている。

「採択資料3」【小学校調査研究(内容から抜粋)】 都立立川国際中等教育学校附属小学校 書写

	東 書	教 出	光 村
防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり
オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	なし	あり
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	なし	なし	あり

「採択資料4」【小学校調査研究(構成上の工夫)】 都立立川国際中等教育学校附属小学校 書写

項目 発行	構成上の工夫				
	ア 毛筆の書き初めで示されている文字	イ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	ウ ユニバーサルデザインの視点	エ デジタルコンテンツの扱い	オ その他
東書	<ul style="list-style-type: none"> ・正月(第3学年) ・明るい心(第3学年) ・日の光(第3学年) ・平和(第4学年) ・春を待つ(第4学年) ・学問の力(第4学年) ・出発(第5学年) ・強い決意(第5学年) ・静かな朝(第5学年) ・希望(第6学年) ・夢を語ろう(第6学年) ・花香る街(第6学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2～6学年では、1見つけよう、2確かめよう、3生かそう、4ふり返ろう、という書写の学び方を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用している。 ・全ての児童の色覚特性に適應するようにデザインしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードを採用し、インターネットを活用した学習を用意している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習事項を、表紙の裏と共通の色で示している。 ・「書写のかぎ」には、文字を整えて書くための大事なポイントをまとめている。 ・「生活に広げよう」では、書写の学びを他教科や学校生活に生かせるような教材を取り上げている。 ・「文字とつしよに」では、さまざまな観点から「文字文化」に触れ、児童の学ぶ意欲を高める工夫をしている。 ・「学びを生かそう」では、日常生活や学校生活に役立つ教材を取り上げて、具体的にイメージしながら学べるように工夫している。 ・漢字表は当該学年の漢字の他に、1学年下の漢字を示している。(第2、4～6学年 ※第3学年は1・2学年下の漢字)
教出	<ul style="list-style-type: none"> ・正月(第3学年) ・友だち(第3学年) ・元気(第4学年) ・美しい空(第4学年) ・初春(第5学年) ・世界の国(第5学年) ・理想(第6学年) ・夢の実現(第6学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学年では、1つかむ、2考える、3たしかめる、4ふりかえる、という学しゅうのすすめ方を示している。 ・第3・4学年では、1つかむ・考える、2書く・たしかめる、3ふり返る、4生かす・広げる、という学習の進め方を示している。 ・第5・6学年では、1つかむ・考える、2確かめる、3ふり返る、4生かす・広げる、という学習の進め方を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮している。 ・見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「まなびリンク」という二次元コードを採用し、学習に役立つ情報をインターネットで見ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「レッツ・トライ」では、書写で学習した内容を各教科や学校生活に活かすことをねらいとしている。 ・「書いて伝え合おう」は、下書きから成果物の完成までの学習過程がイメージでき、日常へ生かす流れがわかる構成になっている。 ・「知りたい文字の世界」では、さまざまな観点から「文字文化」に触れ、児童の学ぶ意欲を高める工夫をしている。 ・漢字表は当該学年の漢字の他に、1学年下の漢字を示している。(第2～6学年)
光村	<ul style="list-style-type: none"> ・正月(第3学年) ・友だち(第3学年) ・はつ春(第3学年) ・ゆめ(第3学年) ・出発(第4学年) ・明るい心(第4学年) ・美しい空(第4学年) ・希望(第5学年) ・新しい風(第5学年) ・平和な国(第5学年) ・感謝(第6学年) ・将来の夢(第6学年) ・進む勇氣(第6学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学年では、ゆびでなそって気がついたことを話し合おう、「たいせつ」でだいじなことを知ろう、よくできたところや気をつけるところをたしかめよう、などの学しゅうばめんを示している。 ・第3～6学年では、1考えよう、2確かめよう、3生かそう、という学習の進め方を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全てのページについて、次の観点から専門家による校閲を行っている。カラーユニバーサルデザイン／特別支援教育 学習のユニバーサルデザイン／人権教育 ・タイトルや「たいせつ」には、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザイン書体を使用している。 ・もっと知りたい「みんなが使いやすい筆記具図かん」では、使う人のことを考えて作られたユニバーサルデザインの筆記具が紹介されている。(第6学年／P20) 	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードを採用し、学習の参考となる動画等の資料をインターネット上に用意している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「書写体操」と「整理体操」がある。 ・水書用紙にまず目がある。(第1学年) ・書写学習が始まる1年と毛筆学習が始まる3年に、「スタートブック」がある。(第1、3学年) ・「もっと知りたい」では、さまざまな観点から「文字文化」に触れ、児童の学ぶ意欲を高める工夫をしている。 ・SDGsの達成に向けた書写の活動を紹介する「SDGsブック」がある。(第4学年) ・6年間で学習する書写の要素をまとめた「書写ブック」がある。(第6学年) ・漢字表は当該学年の漢字の他に、1学年下の漢字を示している。(第2、4～6学年 ※第3学年は1・2学年下の漢字)